85464369175000

試運転担当のかたへ

アグリｍｏ
ぐっぴー専用

HFC系冷媒R410A用	
室外ユニット	スーパーエスパシオ

1. 注　意

集中制御機器を使用する場合には、リンク配線と
Ｓ－ＬＩＮＫアダプターが必要になります 裏面参照

このユニットは、１冷媒系統に室外ユニット１台、室内ユニット１台のシングルタイプで使用することができます

●室内ユニットを複数台使用する場合には、〈項目６〉の“システムコントロールする場合”も合わせて参照してください。

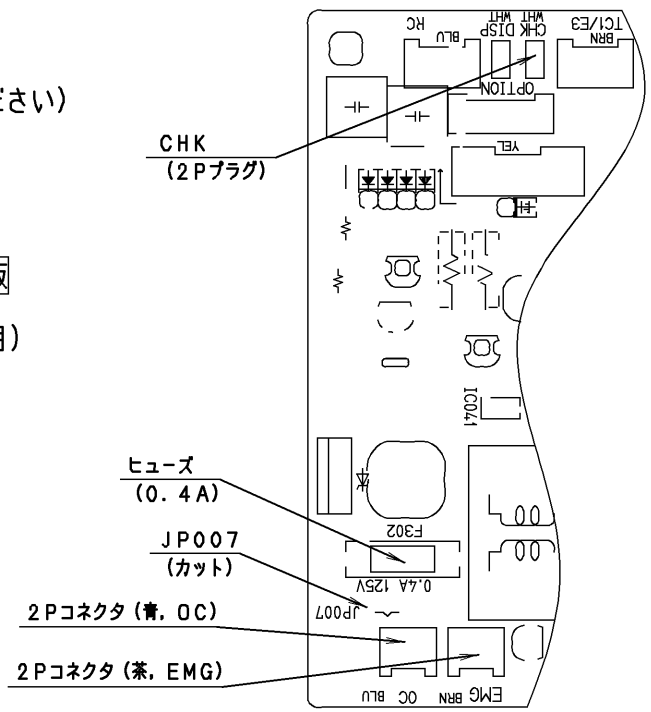
●システムコントロールする場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるよう、室外ユニット系統アドレスを設定すると同時に、組み合わせが確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に室内・室外組み合わせ番号を表示してください。（後日、メンテナンス時に必要となります。→〈項目６〉を参照）

●試運転はお客様に立ち会いをお願いして行ってください。そして“取扱説明書”を説明した上で、実際に操作していただいてください。

●「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。

●室内ユニット７Ｐ端子板のＳＧ１、ＳＧ２端子にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
※誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は、室内基板のヒューズ（０．４Ａ）を溶断して基板を保護するようにしています。
配線接続を修正した後、基板に接続されている２Ｐコネクタ（青、ＯＣ）を外して、２Ｐコネクタ（茶，ＥＭＧ）に差し換えてください。
茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線（ＪＰ００７）をカットしてください。
（作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）

●室外ユニット７Ｐ端子板のＳＧ（ＳＧ１），ＳＧ２端子にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
＊誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は、回路を遮断して基板を保護するようにしています。
配線接続を修正した後、室外コントロール基板の（ＥＭＧ）コネクタに接続されている短絡ピンを「１から２」へ差し替えてください
（作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください）

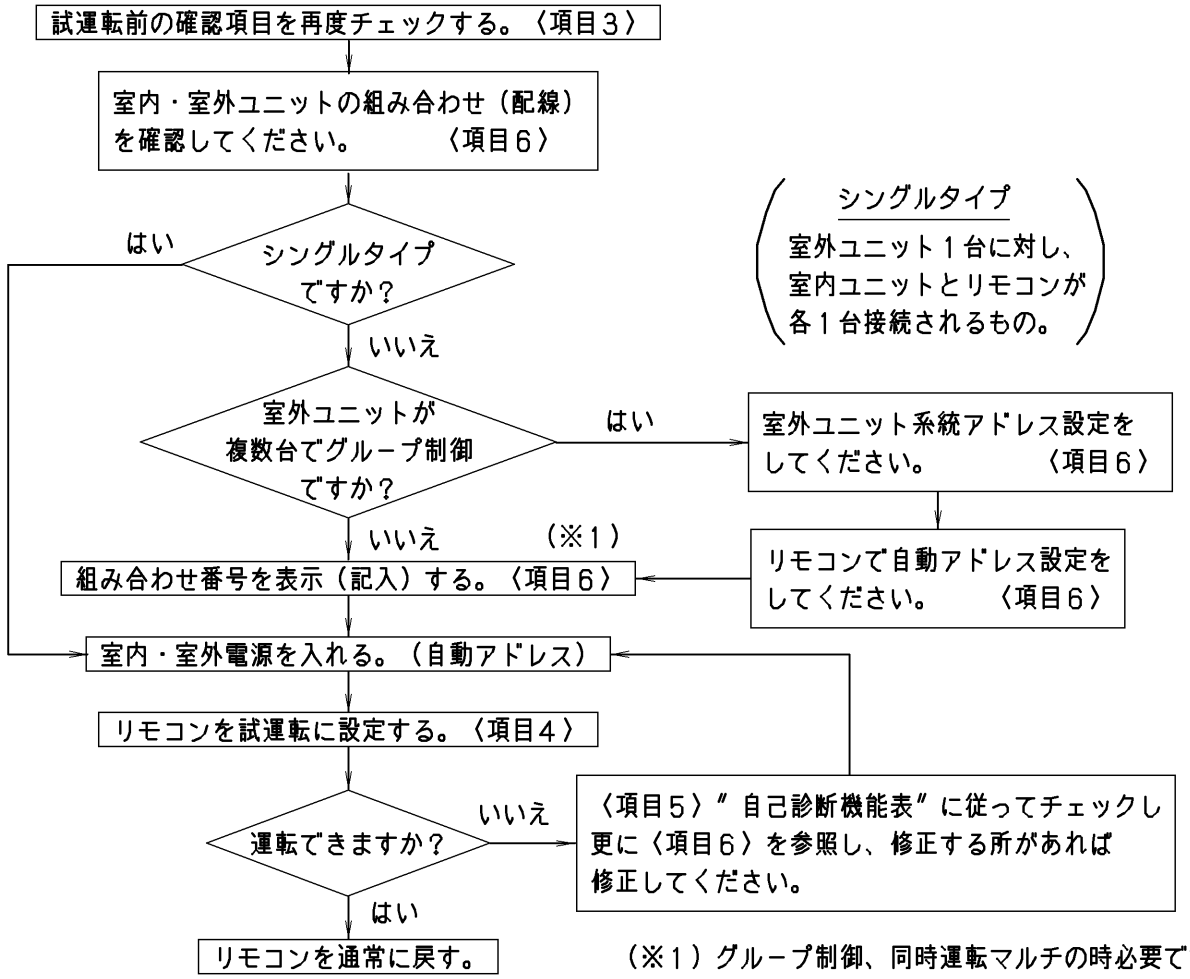


室内コントロール基板

（ＡＣファンモーター用）

2．試運転

注意：室内側ドレン排水の確認をしてください。



（※１）グループ制御、同時運転マルチの時必要です。

3．試運転前の確認項目

1）手元電源スイッチは運転開始の１２時間以上前に入れてください。

2）ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4．リモコン試運転設定

1　リモコンの　点検　ボタンを４秒以上押してから、運転／停止　ボタンを押してください。
- 試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
- 「試運転」モードでは、温度調節はできません。
（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2　「試運転」は暖房、冷房のいずれかの運転モードでご使用ください。
（注）電源投入後、および運転停止後は約３分間は室外ユニットは運転しません。

3　正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に記号表示されます。
下記＜項目５＞〝自己診断機能表〟を参照して修正してください。

4　試運転終了後は再度　点検　ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー試運転解除機能付となっています。）

5　インバーター室外ユニツトの試運転は、圧縮機の運転を１０分以上行ってください。（欠相確認のため）

5. 自己診断機能表と処理方法

ワイヤードリモコンなどの表示	ワイヤレスリモコン表示	原因 1：1接続の場合（シングルタイプ）	原因 グループ制御の場合	原因 同時運転マルチの場合（フレキシブルコンビネーション）	原因 親・子リモコン制御の場合	処置方法
全く表示されない	全く表示されない	● リモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
「設定中」が消えない（10分程度）		● 室内外能力の不一致、他。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 下記室外自動アドレス中のLED表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。
゛E01゛表示	運転ランプ点滅	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線および信号線の断線・接続不良。 ● リモコンが正しく接続されていない。（リモコン受信不良）	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。＜項目6＞
゛E02゛表示		● リモコンが正しく接続されていない。（リモコンから室内ユニットへの送信不良）	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
゛E09゛表示		――	――	――	● 親リモコンが2台設定されている。	● ＜項目6＞〝システムコントロールする場合〟を参照して正しく設定してください。
゛E14゛表示		――	――	● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● 左と同じ。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
゛E04゛表示	準備中ランプ点滅	● 室内外接続線および信号線線の接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 正しく接続してください。
゛E06゛表示		――	● 室内外接続線の断線、接続不良。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● ＜項目6＞〝システムコントロールする場合〟を参照して正しく設定してください。
゛E15゛表示		● 室内ユニット容量が少ない。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	● 室内・室外ユニット総合容量を適切な能力であることを確認してください。
゛E16゛表示		● 室内ユニット容量が多い。				
゛E20゛表示		● 室内ユニットからのシリアル信号を全く受信できない。				● 室内ユニットに電源が入っているか、室内外接続線は正しく接続されているか確認してください。
゛P05゛表示	運転ランプ・準備中ランプ交互点滅	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。	● 左と同じ。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
゛L02゛ ゛L13゛表示	運転ランプ・準備中ランプ同時点滅	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 左と同じ。	● 左と同じ。	――	● 室内・室外ユニットの機種が合っていることを確認してください。
゛L07゛表示		――	――	● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 左と同じ。	● 自動アドレス設定を行ってください。＜項目6＞
゛P09゛表示	タイマーランプ・準備中ランプ交互点滅	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されていない。	● 左と同じ。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
゛P12゛表示		● 室内ユニットのDC送風機異常。	● グループいずれかの室内ユニットのDC送風機異常。	● 室内ユニットのDC送風機異常。	● 左と同じ。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● DC送風機と基板間の配線を確認してください。

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊゛サービス技術資料゛を参照してください。

室外基板上のLED表示
誤配線接続の場合、室外基板の「LED1が4回点滅」で（E警報）「LED2が22回点滅」で（E22警報）になります。 処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

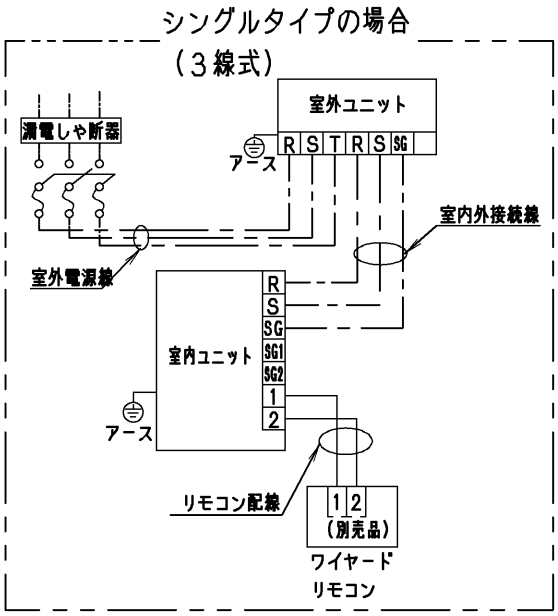
室外自動アドレス中のLED表示（LED1，2が交互点滅します）
「E15警報」LED1、2共0．25秒ON／0．75秒OFF同時点滅します。 「E20警報」LED1，2共0．75秒ON／0．25秒OFF同時点滅します。 上記以外の警報（「E15，E20以外）は、同時点滅します。

6. システムコントロールする場合

システムコントロールとは、同時運転マルチ、グループ制御、親・子リモコン制御する場合です。

6－1　基本配線図１・シングルタイプ

●配線は誤配線のないように接続してください。（誤配線するとこわれます。）



●室内・室外の電源を入れると自動アドレスを設定します。（室外ユニットが１台の場合、系統アドレスが０の場合）この時、約１０分程度かかります。自動アドレス中は、室外コントロール基板のＬＥＤ１とＬＥＤ２が交互点滅し、完了時は消灯します。

●アドレス完了後、１分３０秒以上待ってから、運転を開始してください。

●配線の手順

次の手順に従って配線をしてください。

１）リモコンを室内ユニット１号機のリモコン配線用端子板〈１，２〉に接続します。

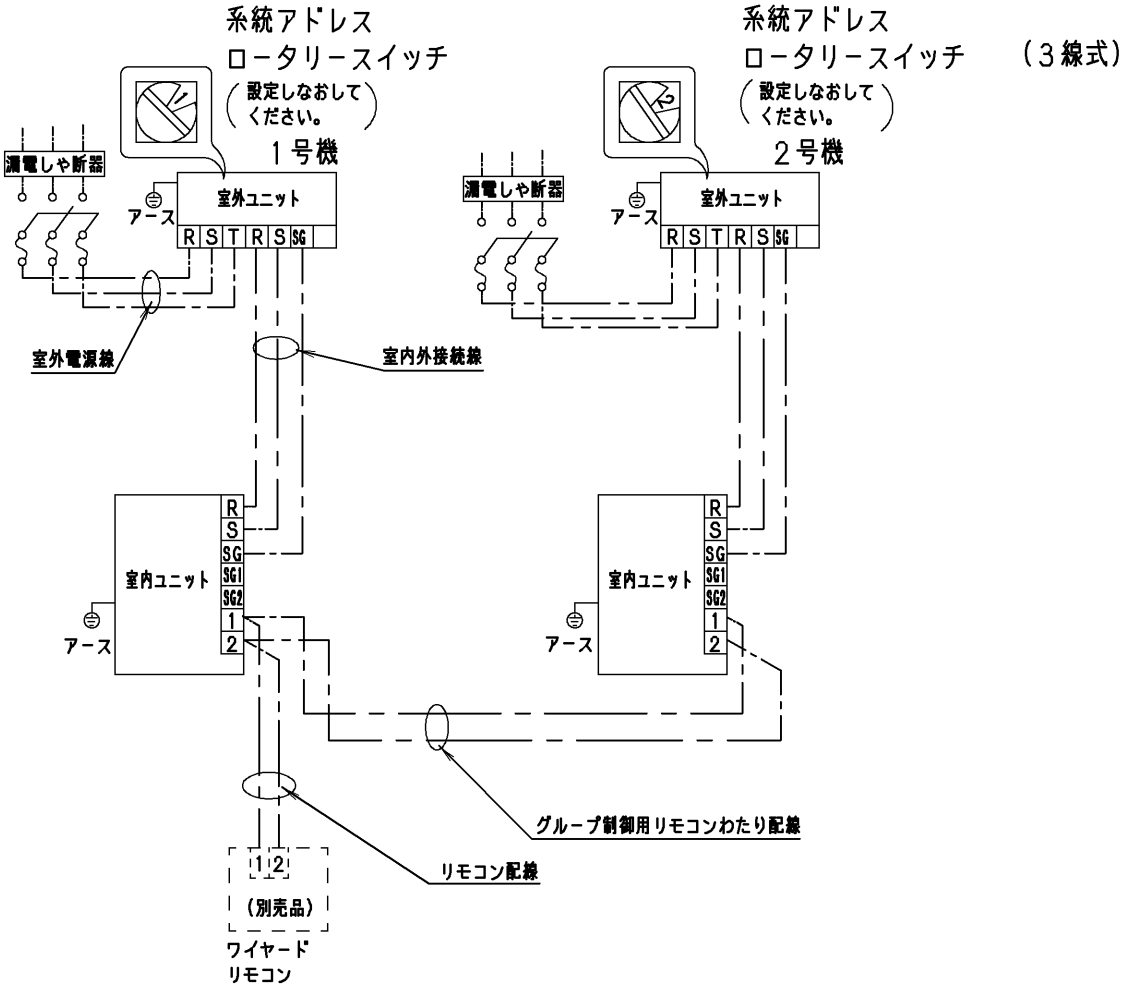
２）室内ユニット〈Ｒ、Ｓ、ＳＧ〉と室外ユニット〈Ｒ、Ｓ、ＳＧ〉を接続してください。（室内外接続線）

３）室内・室外ユニットの電源を入れると、自動的にアドレス設定されます。
（系統アドレス“０”、室外ユニットが１台の場合）

４）自動アドレス設定中は、リモコンに“設定中”と点滅表示されます。
また、室外コントロール基板のＬＥＤ１と２が交互点滅し、完了時は消灯します。

6－2 基本配線図2 グループ制御の場合。（集中制御機器を使用しない場合）

●1個のリモコンで、室内ユニット最多8台まで接続可能です。
（冷媒系統が室外ユニット1台に対し室内ユニット2台および、室外ユニット1台に対し室内ユニット3台の場合）、手元電源スイッチを入れる前に、系統アドレス（冷媒配管系統アドレス）の設定をしてください。（＜項目6－3＞〝室外ユニット系統アドレスの設定方法〟参照）
（室外コントロール基板、系統アドレスロータリースイッチで設定してください。）



（配線の手順）

1．リモコンを室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）に接続してください。（リモコン配線）

2．室内ユニット（R，S，SG）と室外ユニット（R，S，SG）を接続してください。他の室外ユニットと室内ユニット（冷媒系統が異なる）も同様に行ってください。（室内外接続線）
冷媒系統毎の室内ユニットの（R，S，SG）間のわたり配線をそれぞれ接続してください。（室内外接続線）

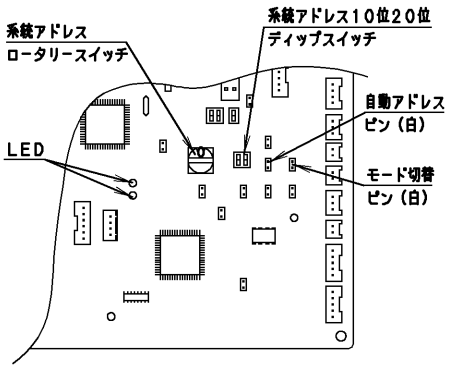
3．室内ユニット（リモコンを接続したユニット）リモコン配線用端子板（1．2）から、他の室内ユニットのリモコン配線用端子板（1．2）にリモコンわたり配線（2線）をそれぞれ接続してください。
（リモコンわたり配線）

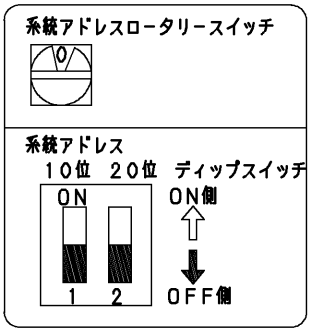
6－3　室外ユニット系統アドレスの設定方法

基本配置図の場合（系統アドレス１，２，３・・・と設定してください。）

室外コントロール基板

スーパーエスパシオ（２２４形）





自動アドレスピン（白）
集中制御（リンク）時使用します。
（通常は使用しません。）
※開始後、再び短絡すると中止されます。

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位 （２Ｐディップスイッチ） １０位２０位	系統アドレス　１の位 （ロータリスイッチ）
０　自動アドレス （出荷時設定゛０゛）	両方共ＯＦＦ	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共ＯＦＦ	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合） ： ：	両方共ＯＦＦ ： ：	設定２ ： ：
１１（室外ユニットが１１号機の場合） ： ：	１０位が ：ＯＮ ：	設定１ ： ：
２１（室外ユニットが２１号機の場合） ： ：	２０位が ：ＯＮ ：	設定１ ： ：
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が ＯＮ	設定０

リモコンからの自動アドレス設定方法　基本配線図２の室外ユニットが複数台でグループ制御の場合

冷媒系統毎のアドレス設定方法

室内外ユニット全て電源を入れ、リモコンで設定してください。（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と点滅表示します。）
（電源を入れてから１分３０秒以上待ってからアドレス設定してください。）

●リモコンのタイマー時間 ▲ ＋ 点検 ボタンを同時に押し（４秒以上）、温度設定 ▲／▼ ボタン
どちらかを押してください。
（項目コード゛Ａ１゛表示：系統別自動アドレス）
自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）の系統番号を ユニット選択 ボタンで選び、 セット ボタンを押します。
（１冷媒系統の自動アドレスを行ないます。）系統１の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。

●系統２も同様にアドレス設定してください。（アドレス設定後１分３０秒以上待ってから運転を開始してください）

６－４　室内・室外ユニットの組み合わせ番号の表示（記入）

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

１）複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。
（例）　（室外）１－（室内）１　…　（室外）２－（室内）１　…

２）メンテナンス時に必要となります。必ず表示するようにしてください。

●リモコンで室内ユニットのアドレスを確認する方法　（ユニット停止中に行ってください。）
点検 ＋ 換気 ボタンを４秒以上押し（簡単設定モード）、 ユニット選択 ボタンで室内アドレスを指定します。（ボタンを押すごとに１－１、２－１…と変化します。）
グループ制御内の選択された室内ユニットアドレスを順次表示して、その室内ファンが運転しますので、室内ユニットのアドレスを確認してください。（室外ユニットが１台の場合は１－１と表示されます。）
再度、点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。
詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

６－５　親・子リモコン制御

この親・子リモコン制御は、１台もしくは複数台の室内ユニットを２個のリモコンで操作するものです。（リモコンは最多２個まで接続可能です。）

（E形リモコンの設定方法）

１．リモコンを２個接続した中の１個は親リモコンとしてください。

２．その他のリモコン（子リモコン）は、セット+運転切換ボタンを同時に４秒以上押します。

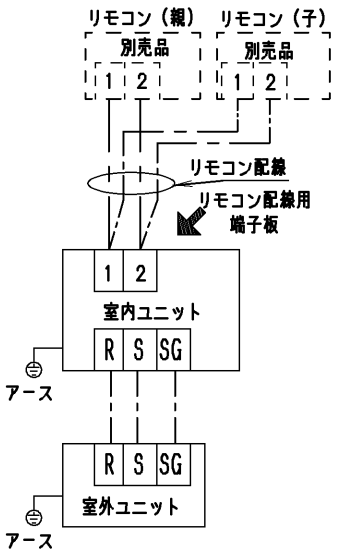
３．温度設定 ▼ ／ ▲ ボタンで、項目コードＯ１を指定します。

４．時間 ▼ ／ ▲ ボタンで設定データをＯＯＯ１（親）からＯＯＯＯ（子）に変更します。

５．セットボタンを押します。（表示が点滅から点灯に変わればＯＫ）

６．点検ボタンを押します。
子リモコンは、室内ユニット２、３に接続しても動作します。

• 室内ユニット１台を、リモコン２個接続して操作する場合



裏面につづく

試運転担当のかたへ

アグリｍｏぐっぴー

（リンク配線の場合）

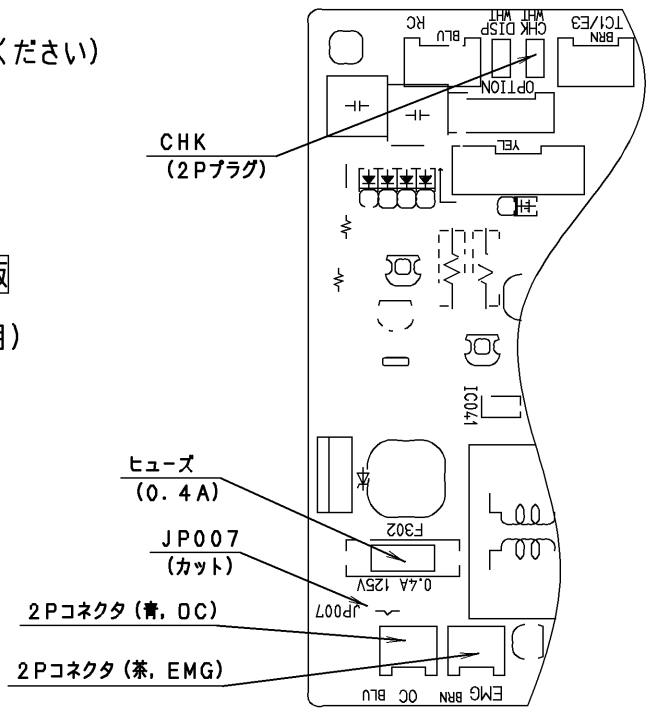
室内・室外ユニットには他に「据付工事担当のかたへ」「電気工事担当のかたへ」の説明書が添付してあります。
必ず参照してください。

1．注　意

集中制御機器を使用する場合には、
Ｓ－ＬＩＮＫアダプターが必要になります。

このユニットは、１冷媒系統に室外ユニット１台、室内ユニット１台のシングルタイプで使用することができます

- リンク配線する場合には、室内・室外の組み合わせを識別できるよう室外ユニット系統アドレスを設定すると同時に組み合わせが確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に、室内・室外組み合わせ番号を表示してください。（後日、メンテナンス時に必要となります。→〈項目６〉を参照）
- 試運転はお客様に立ち会いをお願いして行ってください。そして“取扱説明書”を説明した上で、実際に操作していただいてください。
- 「説明書」「保証書」は必ずお客様にお渡ししてください。
- 室内ユニット７Ｐ端子板のＳＧ１、ＳＧ２端子にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
  ※誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は、室内基板のヒューズ（０．４Ａ）を
  溶断して基板を保護するようにしています。
  配線接続を修正した後、基板に接続されている２Ｐコネクタ（青、ＯＣ）を外して、
  ２Ｐコネクタ（茶，ＥＭＧ）に差し換えてください。
  茶コネクタに差し換えても運転できない場合には、ジャンパー線（ＪＰ００７）をカットしてください。
  （作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください。）
- 室外ユニット７Ｐ端子板のＳＧ（ＳＧ１），ＳＧ２端子にＡＣ２００Ｖの配線接続をしていないか確認してください。
  ＊誤ってＡＣ２００Ｖを印加した場合は、回路を遮断して基板を保護するようにしています。
  配線接続を修正した後、室外コントロール基板の
  （ＥＭＧ）コネクタに接続されている短絡ピン
  を「１から２」へ差し替えてください
  （作業は必ず電源をＯＦＦにしてから行ってください）

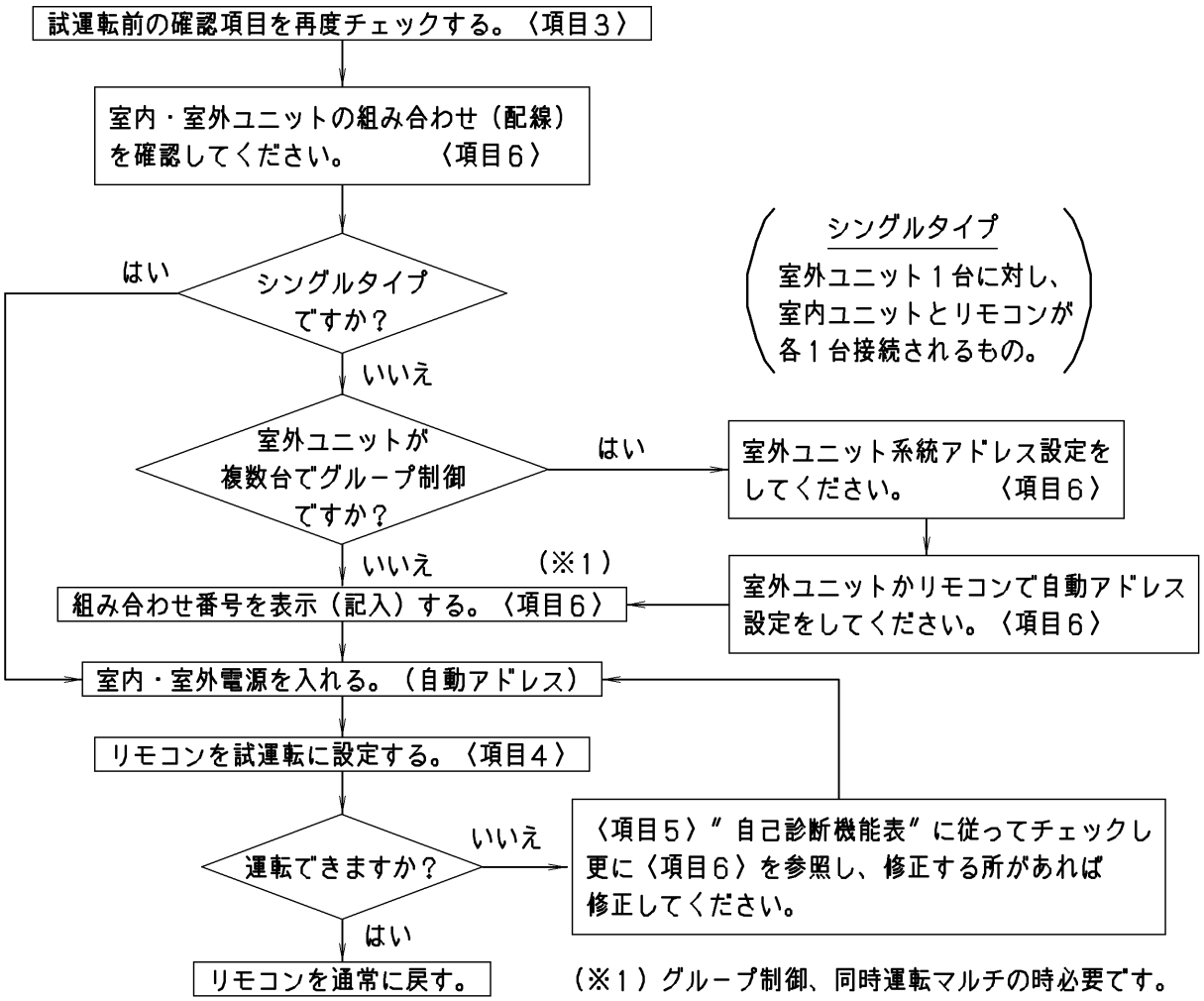


室内コントロール基板

（ＡＣファンモーター用）

2．試運転

注意：室内側ドレンの排水を確認してください。



（※１）グループ制御、同時運転マルチの時必要です。

3．試運転前の確認項目

1）手元電源スイッチは運転開始の１２時間以上前に入れてください。

2）ガス管・液管側の閉鎖弁を全開にしてください。

4．リモコン試運転設定

1）リモコンの 点検 ボタンを押してから、 運転／停止 ボタンを押してください。
- ●試運転中は液晶表示部に「試運転」と表示されます。
- ●「試運転」モードでは温度調節はできません。
（機器に無理がかかりますので試運転時以外は使用しないでください。）

2）「試運転」は暖房、冷房、送風のいずれかの運転モードでご使用ください。
（冷専機種との組み合わせの場合には、暖房モードにはなりません。）
※電源投入後、および運転停止後は約３分間は室外ユニットは運転しません。

3）正常に運転できない場合には、リモコン液晶表示部に警報表示されます。
下記〈項目５〉の“自己診断機能表”を参照して修正してください。

4）試運転終了後は再度 点検 ボタンを押して液晶表示部の「試運転」消灯を確認してください。
（このリモコンは連続試運転を防止するために、６０分タイマー試運転解除機能付となっています。）

5. 自己診断機能表と処理方法

ワイヤードリモコンなどの表示	ワイヤレスリモコン表示	原因 グループ制御、同時運転マルチの場合	処置方法
全く表示されない	全く表示されない	● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。 ● 室内ユニットの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● 室内ユニットの電源を入れてください。
「設定中」が消えない（10分程度）		● 室内外能力の不一致、他。	● 下記室外自動アドレス中のLED表示を確認し、室内外能力をチェックしてください。
゛E01゛表示	運転ランプ点滅	● 自動アドレスが終了していない。 ● 室内外接続線の断線・接続不良。 ● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● リモコンおよび室内外接続線の配線を確認してください。 ● 自動アドレスを行ってください。 <項目6>
゛E02゛表示		● 室内ユニットにリモコンが正しく接続されていない。	● 正しく接続してください。
゛E14゛表示		● リモコンわたり配線の断線・接続不良。	● リモコンわたり配線を確認してください。 ● 再度自動アドレス設定を行ってください。
゛E04゛表示	準備中ランプ点滅	● 室内外接続線の接続不良。	● 正しく接続してください。
゛E06゛表示		● 室内外接続線の断線、接続不良。	● <項目6>〝基本配線図〟を参照して正しく設定してください。
゛E15゛表示		● 室内ユニット容量が少ない。	● 室内・室外ユニットの総合容量を適切な能力であることを確認してください。
゛E16゛表示		● 室内ユニット容量が多い。	
゛P05゛表示	運転ランプ・準備中ランプ交互点滅	● グループいずれかの室外ユニットの三相電源が、逆相または欠相。 ● ガス欠。	● 室外ユニットの三相電源の二相を入れ換えて正しく接続してください。
゛P09゛表示	タイマーランプ・準備中ランプ交互点滅	● グループいずれかの室内ユニットの天井パネルのコネクタが正しく接続されてない。	● 室内ユニットの天井パネル、コネクタを正しく接続してください。
゛P12゛表示		● グループいずれかの室内ユニットのDC送風機異常。	● ファン押さえがはずしてあるか確認してください。 ● DC送風機と基板間の配線を確認してください。
゛L02゛ ゛L13゛表示	運転ランプ・準備中ランプ同時点滅	● 室内・室外ユニット機種の不一致。	● 室内・室外ユニットの機種が合っているか確認してください。
゛L07゛表示		● 室内ユニットにリモコンわたり配線接続されているが、個別設定になっている。	● 自動アドレス設定を行ってください。 <項目6>
゛L10゛表示		● 別途室外メンテリモコンで室外の能力を確認してください。	

● 上記処置をしても正常に運転しない場合、または上記リモコン表示以外の表示がでる場合には、別冊゛サービス技術資料゛を参照してください。

室外基板上のLED表示
誤配線接続の場合、室外基板の「LED1が4回点滅」で（E警報）「LED2が22回点滅」で（E22警報）になります。 処置方法は正しく接続した後、電源を入れ直してください（自動復帰警報ではありません）

室外自動アドレス中のLED表示（LED1，2が交互点滅します）
「E15警報」LED1、2共0．25秒ON／0．75秒OFF同時点滅します。 「E20警報」LED1，2共0．75秒ON／0．25秒OFF同時点滅します。 上記以外の警報（「E15，E20以外）は、同時点滅します。

S－ＬＩＮＫアダプターの表示

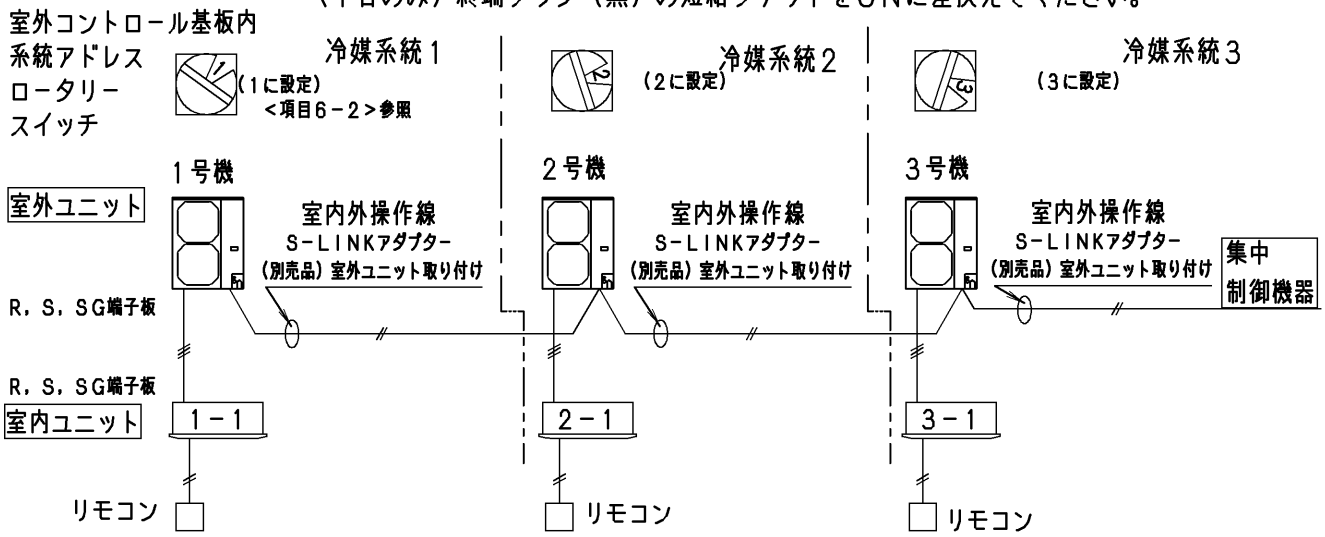
赤色ランプ	状態	対応
消灯	本基板に電源が 供給されておりません。	・Ｓ－ＬＩＮＫアダプターと室外ユニット（または室内ユニット） 基板との配線があるか確認してください。 ・コネクターがしっかりささっていることを確認してください。 ・空調機の電源が入っていることを確認してください。
点滅	原因	処置
	空調機と通信異常	・室内外接続線、および、信号線を確認してください。
	室外ユニットのアドレス 重複異常	・同じ冷媒系統にもう１台Ｓ－ＬＩＮＫアダプターが接続されていないか 確認してください。 ・リンクを接続した空調機が同じ系統アドレスでないか確認してください。

６．自動アドレスの設定方法

６－１ 基本配線図

●リンク配線。

・Ｓ－ＬＩＮＫアダプターを取り付け、リンク配線する場合は、Ｓ－ＬＩＮＫアダプター（１台のみ）終端プラグ（黒）の短絡ソケットをＯＮに差換えてください。

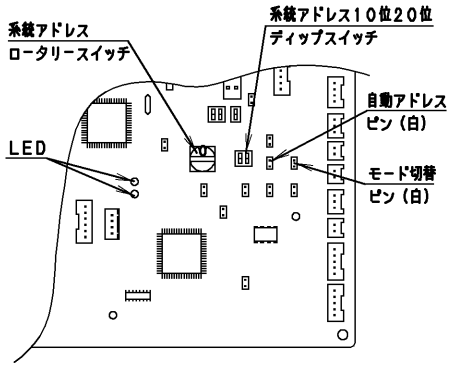


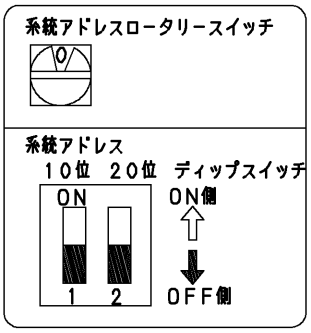
6－2　室外ユニット系統アドレスの設定方法

基本配置図の場合（系統アドレス１，２，３・・・と設定してください。

室外コントロール基板

スーパーエスパシオ（２２４形）
エスパシオ（２２４形）
冷房専用　（２２４形）





自動アドレスピン（白）
集中制御（リンク）時使用します。
（通常は使用しません。）
※開始後、再び短絡すると中止されます。

系統アドレス番号	系統アドレス　１０の位 （２Pディップスイッチ） １０位２０位	系統アドレス　１の位 （ロータリスイッチ）
０　自動アドレス （出荷時設定"０"）	両方共ＯＦＦ	設定０
１（室外ユニットが１号機の場合）	両方共ＯＦＦ	設定１
２（室外ユニットが２号機の場合） ： ：	両方共ＯＦＦ ： ：	設定２ ： ：
１１（室外ユニットが１１号機の場合） ： ：	１０位が ：ＯＮ ：	設定１ ： ：
２１（室外ユニットが２１号機の場合） ： ：	２０位が ：ＯＮ ：	設定１ ： ：
３０（室外ユニットが３０号機の場合）	１０位と２０位が ＯＮ	設定０

室外ユニットから自動アドレスの設定方法　ケース1

●冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも
圧縮機を運転せずに室内ユニットのアドレス設定ができます.

1．・冷媒系統毎に電源が「ONできる場合」1冷媒系統の室内・室外ユニットの電源を入れてください。
・冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」全ての室内・室外ユニットの電源を入れてください。
（電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください）

↓

・「冷媒系統毎に電源がONできる場合」電源をONにした室外ユニットの自動アドレスピン（白）を
短絡し、離してください。
・「冷媒系統毎に電源が「ONできない場合」自動アドレスしたい室外ユニットの自動アドレスピン（白）を
短絡し、離してください。　　<項目6－2参照>

（自動アドレス設定の通信が始まります。）

↓

（室外コントロール基板上のLED1と2が交互点滅し、完了時は消灯します。）<約10分程度かかります>

↓

2．次に他の系統の室外ユニットの自動アドレスピン（白）を短絡し、離してください。

↓

（室外コントロール基板上のLED1と2が、交互点滅し、完了時は消灯します。）

↓

（同様の動作を繰り返して各系統毎の自動アドレス設定を完了させてください）

↓

3．アドレス完了後、1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

リモコンから自動アドレスの設定方法

ケース2

冷媒系統毎に室内・室外ユニットの電源が「ONできる場合」「ONできない場合」どちらも
圧縮機を運転せずに室内ユニットアドレスの設定ができます。

系統別に自動アドレス設定を行います。（項目コード" A1 " 表示）
（電源を入れてから、1分30秒以上待ってアドレス設定してください）

1．リモコンのタイマー時間 ▲ ＋ 点検 ボタンを同時に押します。（4秒以上）

2．次に温度設定 ▲ ／ ▼ ボタンどちらかを押してください。＜項目コード" A1 " 表示＞

3．自動アドレスしたい室外ユニット（リモコンが接続されている室内ユニットと同じ冷媒系統の室外ユニット）の
系統番号をユニット選択ボタンで選び、E形の場合セットボタンを押します。

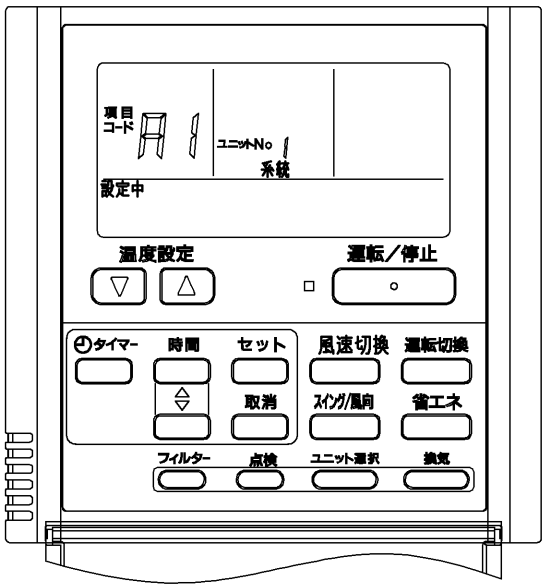
（1冷媒系統の自動アドレス設定を行ないます。）

系統1の自動アドレスが終ると通常の停止に戻ります。＜約10分程度かかります。＞
系統2以降も同様にアドレス設定してください。

（自動アドレス中は、リモコンに 設定中 と、点滅表示し、完了時には消灯します）

アドレス設定後1分30秒以上待ってから運転を開始してください。

E形リモコン



室内ユニットのアドレス確認

●シングルタイプの場合

・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

1．点検ボタン＋換気ボタンを４秒以上押してください。（簡単設定モード）

2．リモコンに接続されてている室内ユニットのアドレスが表示されます。

3．再度、点検ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

●グループ制御をしている場合

・リモコンで室内ユニットのアドレスを確認してください。

1．点検ボタン＋換気ボタンを４秒以上押してください。（簡単設定モード）

2．リモコンにＡＬＬが表示されます。

3．次に、ユニット選択ボタンを押します。

4．リモコンに接続されてている室内ユニットのアドレスが表示され、その室内ユニットのファンが回転し、風が出ることで確認できます。

（系統アドレスが１号機の場合、ボタンを押す毎に１－１、１－２・・・１－１と変更します。）

（選択された室内ユニットのみ、室内ユニットのファンが回転します）

5．順次、ユニット選択ボタンを押し、室内ユニットのアドレスを確認してください。

6．再度、点検ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

６－３　室内・室外ユニットの組み合わせ番号を表示（記入）

自動アドレス完了後表示（記入）してください。

1）複数台設置される場合、個々の室内・室外ユニットの組み合わせが確認しやすいよう、油性マジック等の消えにくいもので、室内・室外ユニットの対応番号を室外コントロール基板の系統アドレス番号と対応させ、室内ユニットの確認しやすい場所（室内ユニットのネームプレート近傍）に表示してください。

（例）　（室外）１－（室内）１　…　（室外）２－（室内）１　…

2）メンテナンス時に必要となります。必ず表示（記入）するようにしてください。

●リモコンで室内ユニットのアドレスを確認する方法

点検 ＋ 換気 ボタンを同時に４秒以上押し（簡単設定モード：“ＡＬＬ”表示）、 ユニット選択 ボタンで室内アドレスを指定します。

（系統アドレスが１の場合、ボタンを押すごとに１－１、１－２…１－４、ＡＬＬ、１－１と変化します。）

選択された室内ユニットのみ室内ファンが運転しますので、室内ユニットのアドレスを確認してください。

（系統アドレスが２号機の場合は、２－１，２－２・・・・と表示されます。）

再度、 点検 ボタンを押すと通常のリモコンモードに戻ります。

詳細については、別冊ハンドブック等を参照してください。

E形リモコン